

兵庫県水産技術センターだより

赤潮情報 AK-06-38 号

令和7年3月28日発行

【注意喚起】

ヤコウチュウ（夜光虫：*Noctiluca scintillans*：ノクチルカ シンチランス）の赤潮が発生しやすい時期を迎えていますので、海域の着色状態とともに操業や活け間への取水などに改めてご注意ください。

ヤコウチュウによる赤潮は春から初夏にかけての風物詩的な現象であり、基本的にヒトや魚類には被害を及ぼさない種とされていますが、細胞内に蓄積される大量のアンモニアによって主にイカなどの軟体類など弱らせたり斃死させたりすることがあります。また、赤潮形成後の分解に伴い酸素を大量に消費するので水塊の貧酸素化にも注意が必要です。

大型で軽いヤコウチュウは海表面付近に多く分布しており潮目に集積しやすく、潮の流れにのって移動したり、風に吹き寄せられたりして内湾や漁港内など沿岸部に溜まりやすいです。大量のヤコウチュウで着色した海水は薄いピンク色から濃い赤色や赤褐色を呈し、赤潮末期には白濁することもあります。

【参考】



§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター（担当：水産環境部 鈴木、大野）
Tel：078-941-8602 Fax：078-941-8604 Homepage：<https://www.hyogo-suigi.jp/>